

消費税増税に伴う診療報酬改定が 国立大学病院に与える影響と今後の取組

令和元年12月13日（金）

診療報酬改定の影響と今後の取組 ～全体の影響額～

診療報酬改定の影響調査（2019年10月実績ベース）

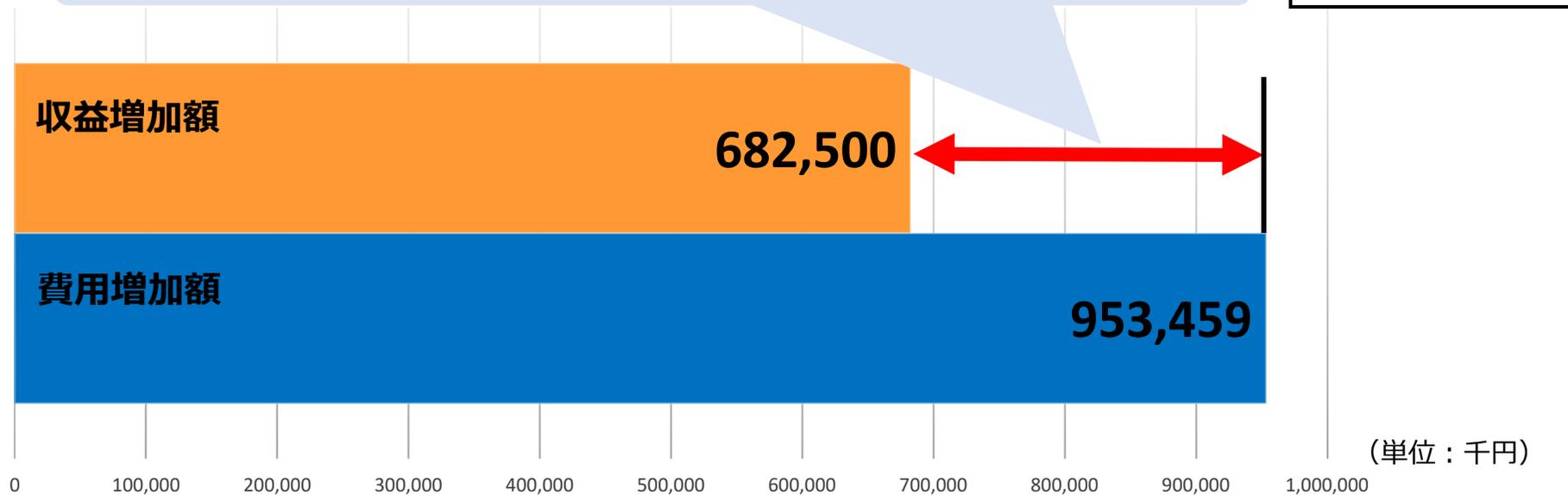
HOMAS2（国立大学病院管理会計システム）を用いて、2019年10月実績データをベースに改定前の点数・税率を当てはめた試算データと実績との比較を行った。

対象：42国立大学42病院

収益：2019年10月のDPC実績データ（様式1・外来EFファイル・入院EFファイル・Dファイル）

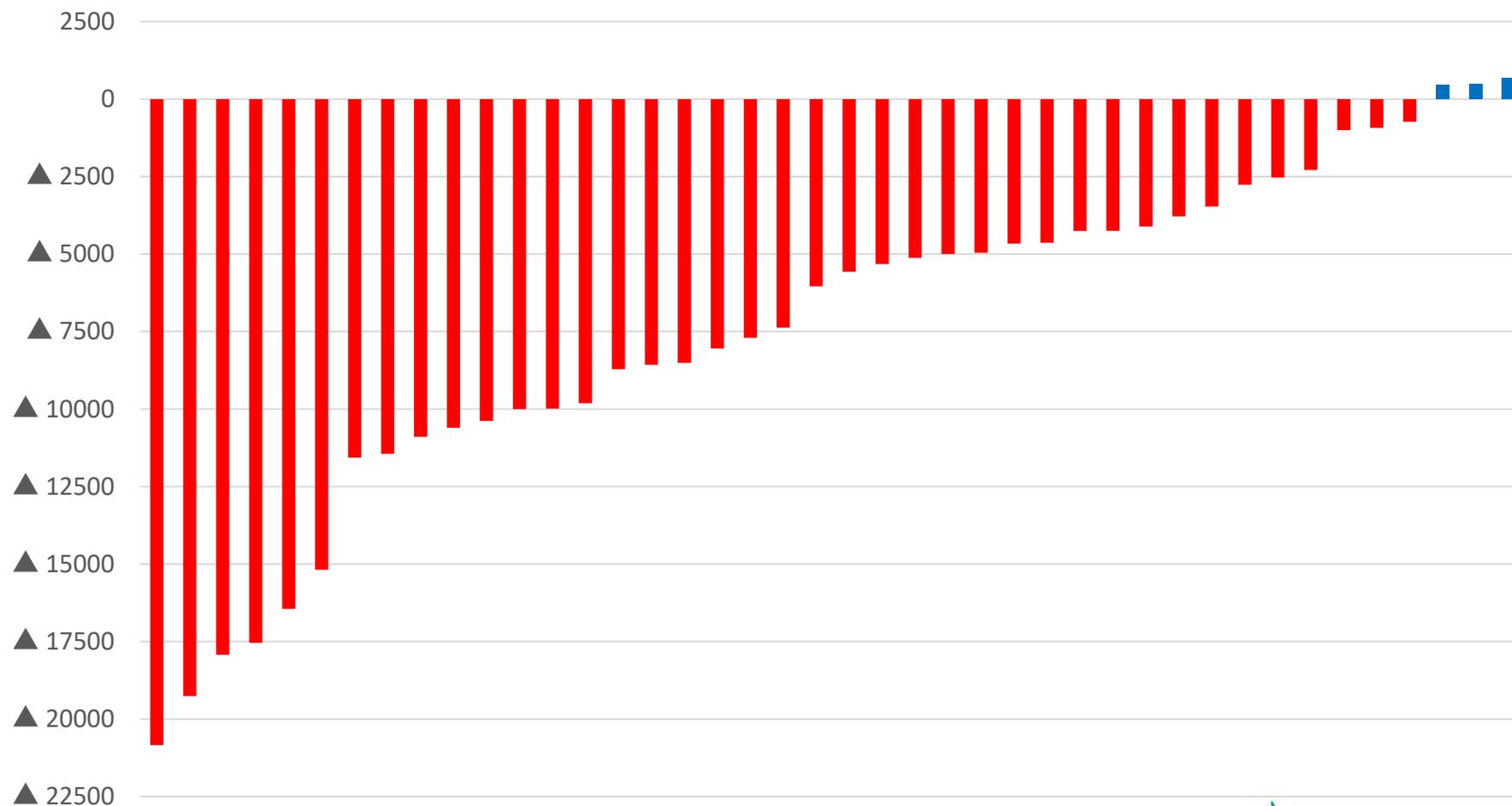
費用：2019年10月の費用実績データ（HOMAS2財務会計データ）

42大学合計約2億7千万円/月の補填不足



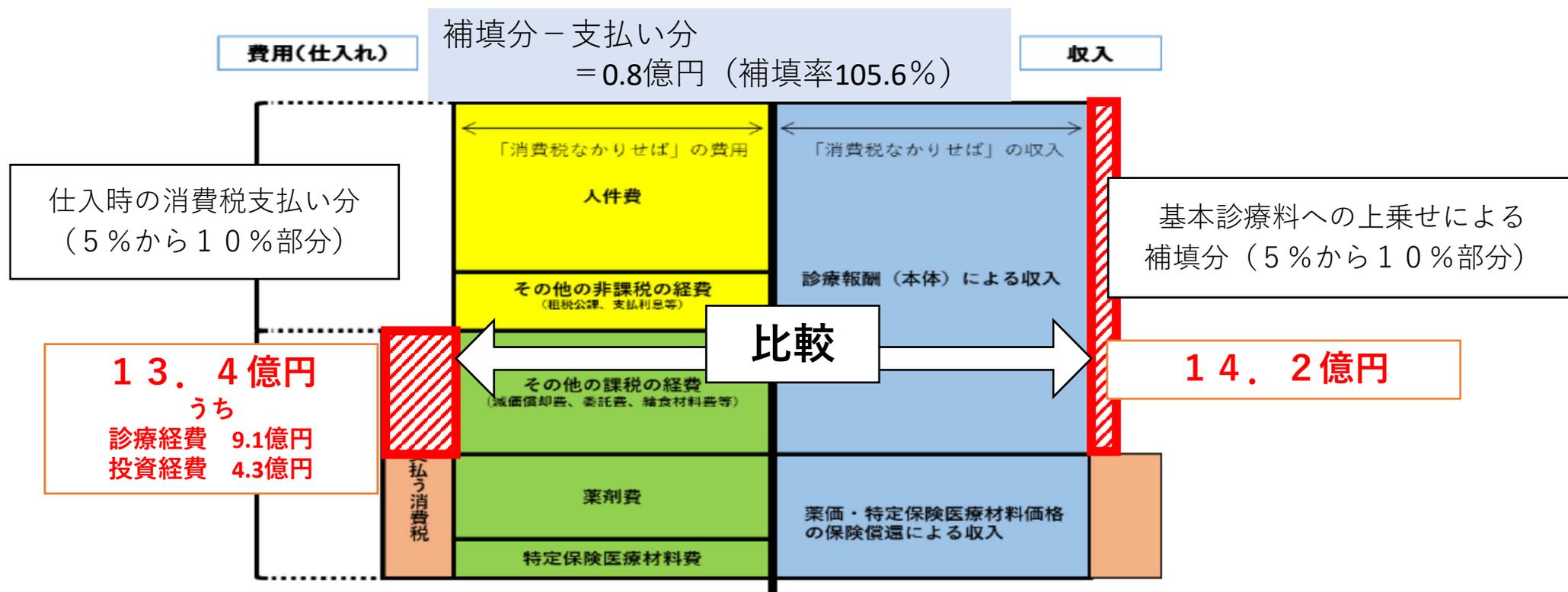
診療報酬改定の影響と今後の取組 ～全体の影響額～

42国立大学病院中、39病院で改定に伴う収支差がマイナス



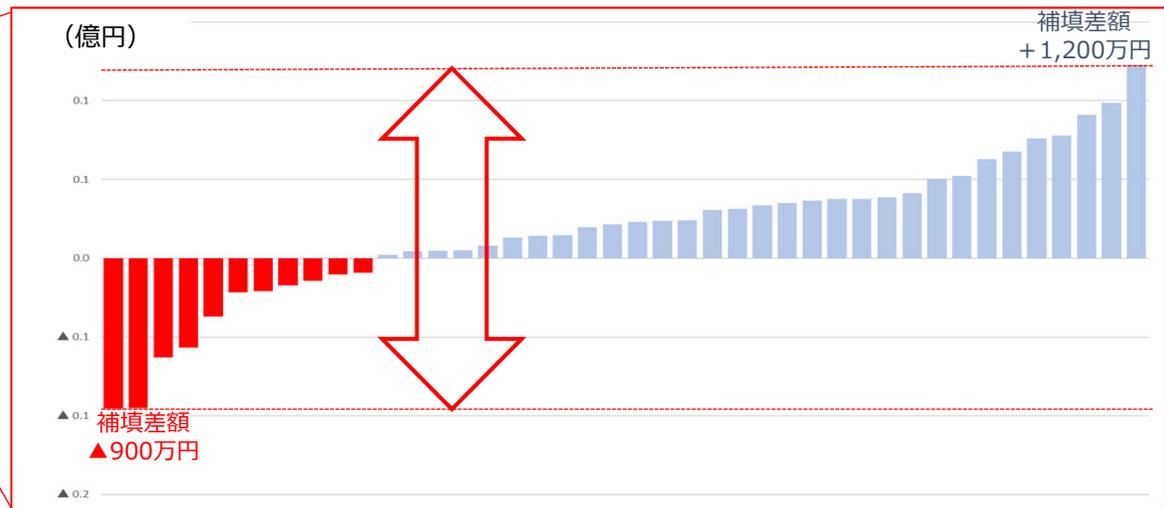
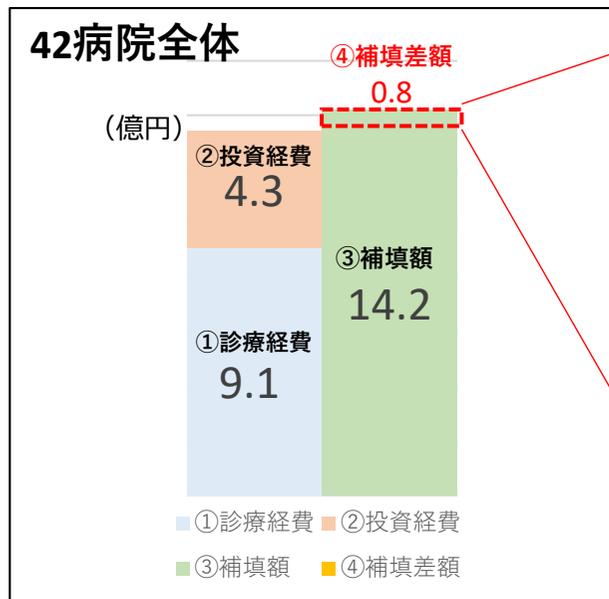
診療報酬改定の影響と今後の取組 ～10月診療分に対する消費税補填状況の検証～

- 令和元年10月の診療報酬請求データを基に計算した結果、消費税5%から10%部分の補填率は105.6%。(42国立大学病院)



診療報酬改定の影響と今後の取組 ～10月診療分に対する消費税補填状況の検証～

- 個別の病院では、▲900万円から1200万円とバラつきが生じている。
- 近年の増収減益により設備投資が進まず、投資経費が年々減少する中、かろうじて補填されている状況。



出典：国立大学病院長会議調

- ①診療経費の金額は、附属病院の業務のうち教育、研究、人件費等を除く診療業務に係る経費（医薬品、特定材料を除く）の令和元年10月の消費税額を計上しています。
- ②投資経費の金額は、附属病院で取得した建物や機器のうち①と同様に診療業務に使用する建物の全部又は一部、機器の減価償却費の平成30年度の総額を1か月あたりの金額に換算し、消費税額を計上しています。
- ③補填額は、42病院の令和元年10月分診療報酬請求データ（EFファイル）から消費税上乗せ項目の算定回数を抽出し、これに令和元年10月改定時の消費税補填点数分（5→10%部分）を乗じて算出しています。
- なお、包括部分は、個々の点数に含まれる消費税相当分が不明であるため、包括点数に一律3.4%を乗じた額を計上しています。
- ④補填差額は、③ - (①+②)により計上しています。

診療報酬改定の影響と今後の取組 ～償還材料等の価格交渉への影響～

- 令和元年10月の診療報酬改定において、薬価・材料価格の上げは、**医療機関等が仕入時に負担する消費税に応じた上乗せ措置**である。

- 令和元年10月1日適用の新償還価格の算定方法についての厚生労働省の説明

- 消費税は事業者にとって実質的な負担となるべきものではないことから、診療報酬や薬価等を設定するには、医療機関等が仕入れに際して支払う消費税を反映し、点数を上乗せすることで対応をしてきました。
- すなわち、平成元年、平成9年、平成26年及び令和元年の消費税導入・引き上げ時において、診療報酬や薬価等の改定を行い、**医療機関等が仕入れに際して支払う消費税に応じた上乗せ措置を行っています。**

(計算式)

$$\begin{matrix} \text{新薬価} \\ \text{新材料価格} \end{matrix} = \begin{matrix} \text{医療機関・薬局への販売価格の} \\ \text{加重平均値（税抜の市場実勢価格）} \end{matrix} \times \begin{matrix} 1 + \text{消費税率} \\ \text{(地方消費税分含む)} \end{matrix} + \text{調整幅}$$

薬価・材料価格

(1) 消費税率2%分の引上げ

- 市場実勢価格（消費税8%分を含む）に消費税2%分を上乗せ。

薬価等（2019年10月実施） うち消費税対応分 +0.47%
(薬価+0.42 材料+0.06)

(2) 実勢値改定

- 趣旨 消費税率の引上げに伴い、適正な消費税の転嫁を行う観点から行う臨時的な改定。
- 改定ルール 実勢値改定に連動して必要となるルールのみ実施。

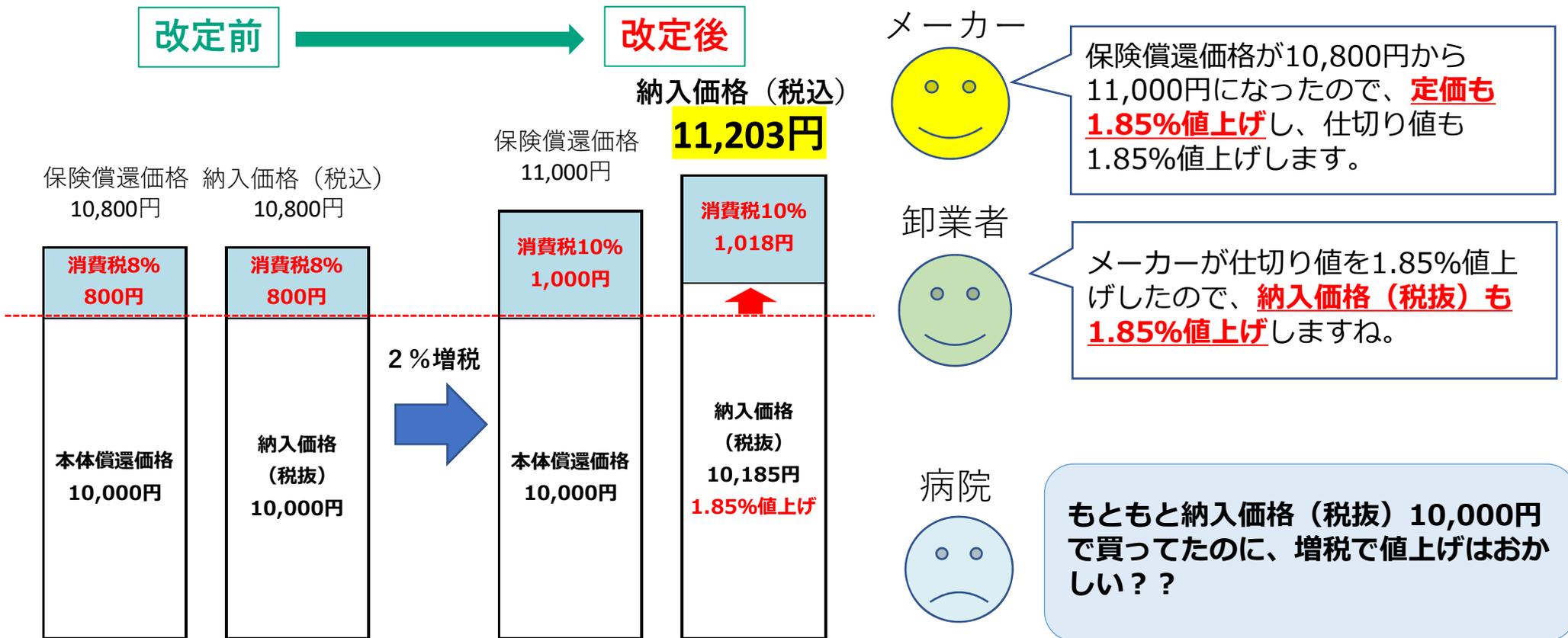
薬価等（2019年10月実施） うち実勢値改定等分 ▲0.95%
薬価（※）▲0.93 材料▲0.02
※四半期再算定▲0.06を含む。

※参照元）消費税と診療報酬について - 厚生労働省

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/iryohoken/iryohoken13/dl/140401.pdf>

診療報酬改定の影響と今後の取組 ～償還材料等の価格交渉への影響～

- 各大学の交渉では、消費税の適切な転嫁の分を超える価格提示がされている事例が確認されている。



EPOC (Evaluation system of **P**Ostgraduate **C**linical training)

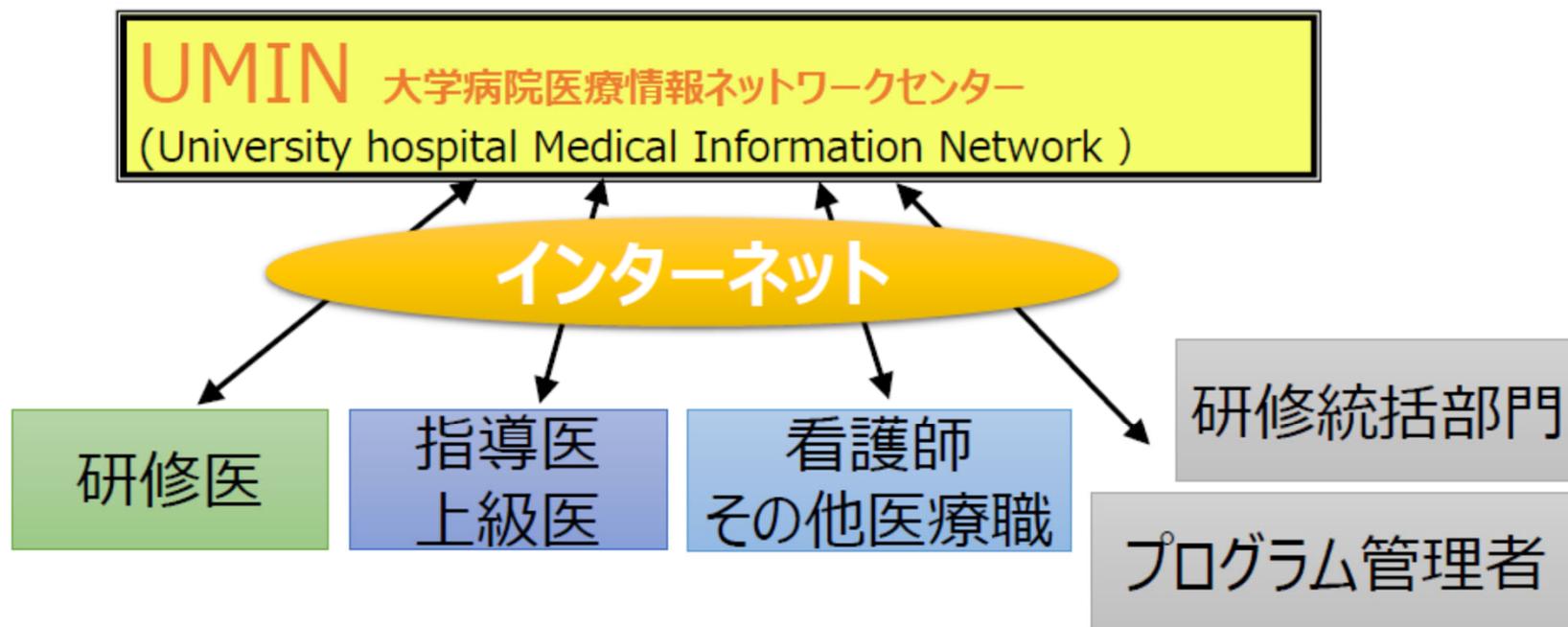
から **EPOC2** (E-**P**ortfolio of **C**linical training) へ

— 臨床研修制度見直しに対応した新しいEPOC —

国立大学病院長会議 EPOC運営委員会

EPOC₂ オンライン臨床教育評価システム

Evaluation and portfolio system of clinical training



- 厚労省施行通知に準拠の卒後臨床研修評価システム

現行EPOCは評価記録ツール



2004年の臨床研修制度発足時から
研修医の50 – 70%に使用されてきた
「臨床研修の到達目標」の達成度の評価
システム

指導上有用な情報の管理

- 研修履歴
- コメディカル評価
- 指導医間の申し送り

臨床研修の到達目標、方略及び評価の見直しのポイント

現行の研修の到達目標についての指摘

- ① 行動目標と経験目標から構成されているが、その内容について必ずしも目標、方略、評価に分けられていない
- ② 人口動態や疾病構造の変化、医師養成全体の動向等に配慮すべき
- ③ 入院医療から外来医療への移行をはじめとした医療提供体制の変化等について、適切に踏まえるべき
- ④ 「経験すべき症状・病態・疾患」等については、当該項目を「経験する」ことが基本となっているが、診療能力の評価をさらに重視すべき
また、評価方法が様々であるため評価方法の標準化が必要
- ⑤ 項目が細分化されており、簡素化が必要

臨床研修の到達目標、方略及び評価の見直しのポイント

1. 到達目標の項目の整理

- 新たな臨床研修の到達目標については、「**目標**」とそれを達成するための「**方略**」、及びその「**評価**」に分けて整理

2. 卒前教育との整合性

- 到達目標、方略、評価について、**卒前教育のモデル・コア・カリキュラム等との連続性を考慮**
 - 到達目標、方略、評価を整合的に設定

3. 研修項目の充実

- 一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応できるよう、**内科、外科、小児科、産婦人科、精神科、救急、地域医療を必修化**
- 臨床推論や外来での研修を充実させるため、**一般外来における研修を方略に位置づけた**

4. 評価方法の標準化

- 評価の標準化のため、**評価票及び評価方法を提示**
- 臨床研修の**到達目標の項目毎に、臨床研修医に求められる修得の程度を提示**(マイルストーン)

5. 項目の簡素化

- **「経験すべき症候」と「経験すべき疾病・病態」を簡素化**
 - 「経験すべき症候」 52項目 → **29項目**
 - 「経験すべき疾病・病態」88項目(7割以上) → **26項目**
 - **A疾患**(入院症例レポートが必修)、**B疾患**(外来、入院での経験が必修)を廃止し、**上記項目を全て経験することとした**
 - レポート作成を廃止し、**日常業務で作成する病歴要約で確認**

EPOC2



厚生労働省

Ministry of Health, Labour and Welfare

医道審議会医師分科会医師臨床研修部会 報告書 参考資料 (H30.3.30) より

EPOC2を開発

1. 厚労省施行通知（医師臨床研修ガイドライン）に準拠

- 厚労省臨床研修補助金（約5,000万円）交付

2. 2021年度（予定）～ 卒前との連携が可能に 卒前臨床実習でも活用

3. 入力を簡単に 携帯端末での入力を デフォルトに

- 負担無く簡便に登録できる

4. 新たな評価票、360度評価に対応

- UMIN IDを持たないメディカルスタッフもQRコードで評価を入力できる

5. ポートフォリオ機能*も搭載 将来の専門医申請に 活用できる

- 経験症例インデックスの作成
- 研修活動の記録

*これまでの研修履歴を管理・一覧表示する機能

入力画面を一新



画面はpre β版です
今後デザインは変更予定です

研修医評価票

タップすると
評価を入力できる

全国の使用研修医の同時期の到達度の平均値を参照できる

研修医評価票 I / II / III

戻る 一時保存 確定

評価票I 評価票II 評価票III

期待を大きく下回る 期待を下回る 期待通り 期待を大きく上回る 観察機会なし

✓ A-1.社会的使命と公衆衛生への寄与

1 2 3 4 -

✓ A-2.利他的な態度

1 2 3 4 -

✓ A-3.人間性の尊重

1 2 3 4 -

研修医

指導医
上級医

看護師
その他医療職

画面はpre β版です
今後デザインは変更予定です

研修医評価票

UMIN IDがない評価者は、
QRコードを読み取れば、
評価が入力できる

インターネット接続可能
なスマホを持たない場合

↓
対応例

- ・病棟師長にUMIN IDを
取得してもらう
- ・紙で評価し代行入力
など

360度評価用

日付 (期 間)	2019/07/01~ 2019/07/31
医療 機関 名	東京医科歯科大 学医学部附属病 院
診療 科名	整形外科

QRコード

閉じる

研修医



看護師
その他医療職

画面はa版です
今後デザインは変更予定です

経験症候／ 疾病・病態 の記録

症候/疾病・病態一覧から
登録したいものを選択

症例			経験件数	確認件数
1. ショック	症例登録	症例一覧	18	2
2. 体重減少・るい瘦	症例登録	症例一覧	4	1
3. 発疹	症例登録	症例一覧	5	1
4. 黄疸	症例登録	症例一覧	3	1
5. 発熱	症例登録	症例一覧	2	0
6. もの忘れ	症例登録	症例一覧	4	0
7. 頭痛	症例登録	症例一覧	2	2
8. めまい	症例登録	症例一覧	2	0
9. 意識障害・失神	症例登録	症例一覧	1	0
10. けいれん発作	症例登録	症例一覧	1	0
11. 視力障害	症例登録	症例一覧	2	1

研修医

画面はpre β版です
今後デザインは変更予定です

経験症候／ 疾病・病態 の記録

経験したことの確認を
指導医・上級医に依頼

QRコードを読み取れば
その場で承認入力が可能

指導現場で診療録を前に
研修医/指導医・上級医が
対面でチェックが可能

10:57 @ 86%

症例登録

承認依頼用

担当日	2019/07/26
医療機関名	東京医科歯科大学医学部附属病院
診療科名	整形外科



閉じる

研修医



指導医
上級医

画面はα版です
今後デザインは変更予定です

EPOC2で実現へ

シームレスな評価

卒前臨床実習 → 卒後臨床研修

臨床実習の到達目標

モデル・コアカリキュラムガイドライン

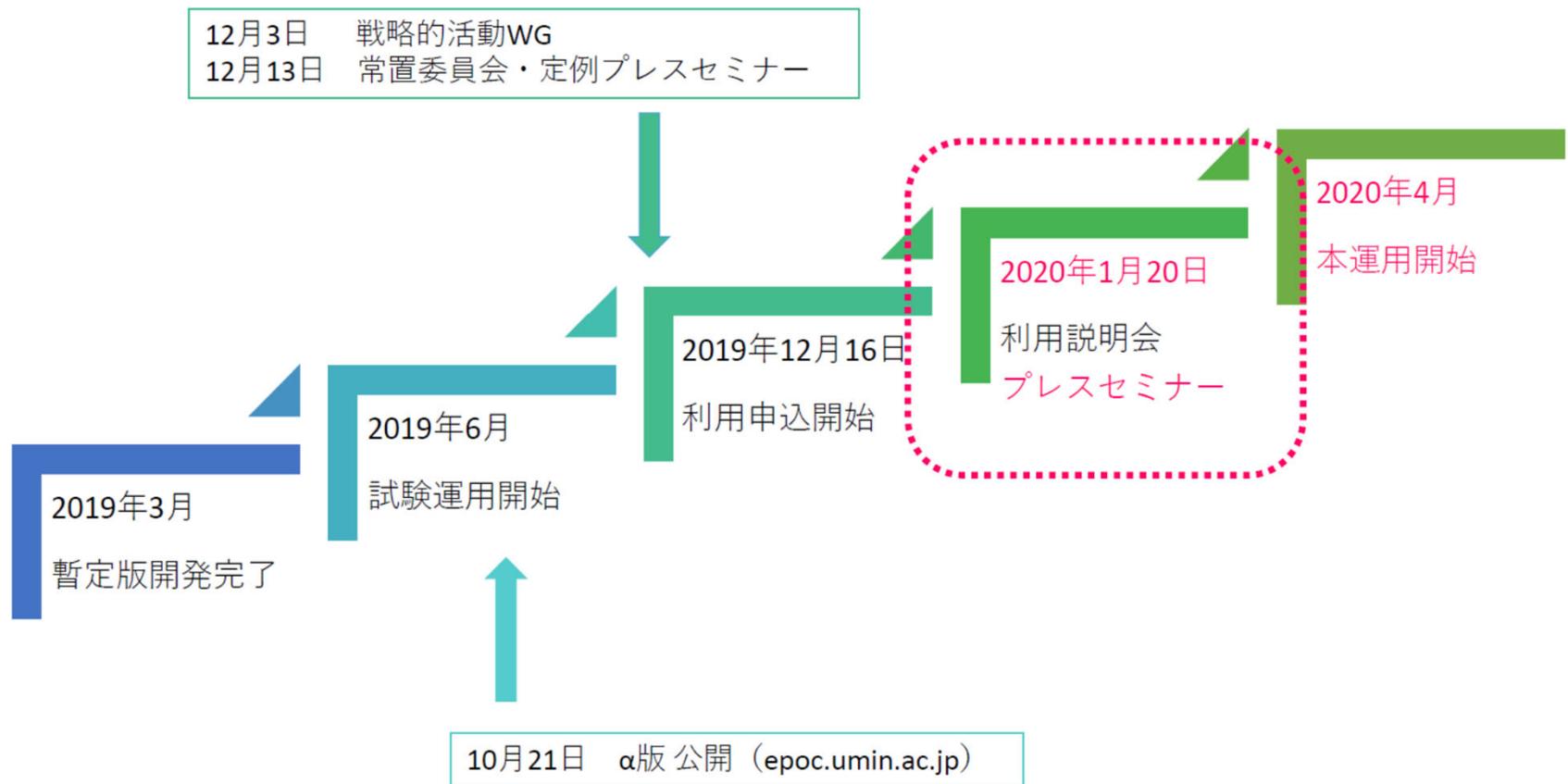
- 診療の基本（「医師として求められる基本的な資質・能力」）
- 臨床実習で学生を信頼し任せられる役割（EPA）
- 臨床推論（症候・病態）
- 基本的臨床手技
（一般手技、検査手技）

臨床研修の到達目標・方略・評価

- 研修評価票Ⅱ（資質・能力）
- 研修評価票Ⅲ（基本的診療業務）
- 経験症候／疾患・病態の記録
- 臨床手技・検査手技等の記録

卒前卒後のシームレスな連携により、重複のない効率的な実習・研修の提供が可能
→ 基本的な診療能力が早期から修得可能となり、医師の診療レベルの向上に繋がる

EPOC2開発導入スケジュール（予定）





α版 公開中!

epoc.umin.ac.jp



EPOC2 オンライン臨床教育評価システム

Evaluation and portfolio system of clinical training

要旨

- 厚生労働省・文科省の支援の下、国立大学病院長会議が卒後臨床研修の新しい評価システムを開発（2020年4月より運用開始）
- EPOC2を用いた卒後臨床研修(厚生労働省所管)と卒前臨床実習(文部科学省所管)のシームレスな連携を目指して機能拡張中。
(卒前機能に関しては、2021年度中の運用開始を予定)
- 卒前卒後のシームレスな連携により、重複のない効率的な実習・研修の提供が可能。
- 基本的な診療能力が早期から修得可能となる。世界に類をみない臨床教育のナショナル・ビッグデータが得られる

厚生労働省医道審議会 医師分科会 令和元年6月

オンライン臨床教育評価システム

EPOC2

E-Portfolio of Clinical training

説明会

2020年度の臨床研修制度改訂に対応した「オンライン臨床教育評価システム (EPOC2)」について、2020年4月からの本運用に向けた説明会を開催します。

日程 2020年1月20日(月)

時間 15:00~17:00

定員 600名(先着順)

場所

東京医科歯科大学

鈴木章夫記念講堂
東京都文京区湯島1-5-45



プログラム

1. EPOC2の開発の経緯
2. 厚生労働省、文部科学省からの挨拶、2020年度改訂の臨床研修制度の説明
(文部科学省高等教育局医学教育課 丸山 浩 課長、厚生労働省医政局医事課医師養成等企画調整室 加藤 琢真 室長)
3. 基本方針やコンセプト
4. ID利用申請・管理、セキュリティ、バックアップ等の運用体制
5. 具体的な使い方・機能の説明
6. 質疑応答

*当日の様子は後日動画にて公開します

プレスセミナー

説明会終了後、報道関係者向けの説明を行います。

問合せ先

■EPOC2について■

UMINセンター Email: epoc-ctr@umin.ac.jp

■説明会について■

東京医科歯科大学医学部附属病院総合教育研修センター
Email: kensyu_center.adm@tmd.ac.jp

お申し込み



※先着順
(案内になり次第締め切らせていただきます)